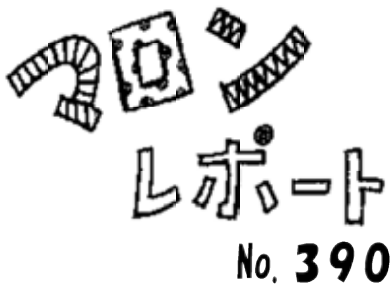


日本共産党区議会議員 おぐり智恵子の

議員活動報告

事務所:中央区日本橋人形町1-10-8
自宅:Tel/Fax 3249-1762

発行・日本共産党中央区議会議員団 Tel 3546-5563
HPアドレス <http://www.jcpchuo-kugidan.jp/>



立憲主義を否定する 自民党改憲案

危険

区議会第二回定例会が6月20日から7月1日まで行われ、6月22日には、日本共産党区議団を代表して、私(おぐり智恵子)が一般質問を行いました。

自民党改憲案の問題点を問う

私は、参議院選挙でも大きな争点となった憲法問題について、本会議で「自民党改憲案」をとりあげ、質問しました。

自民党が2012年に発表している「改憲案」は

▼「国防軍」を保持し、「国際的協調」の名のもとに、海外での武力行使を可能にする
▼内閣総理大臣が「緊急事態」



6月22日本会議で質問する区議会議員おぐり智恵子

- 【質問事項】
1. 憲法問題について
 2. 保育所問題について
 3. 熊本地震をふまえたまちづくりについて
 4. 築地市場「移転」問題について
 5. パリ・ロンドンへの海外視察について

を宣言すれば、内閣が立法権を行使し、国民の基本的人権を停止することができるとする事実上の「戒厳令」を可能にする

▼現憲法97条「基本的人権」を丸ごと削除し、「公益及び公の秩序」の名で基本的人権を制限できる仕組みに変える

▼地方自治が果たす役割を「身近な行政」と割り切り、社会保障は国に頼らず地方同士で協力して行うよう求めており、生存権・社会保障の第一の責任を負うべき国の役割を放棄するものとなっている——とその問題点を指摘しました。

「改憲案」は「憲法によって権力を縛る」という立憲主義を否定し、「憲法によって国民を縛る」ものに大変質させてしまうものです。

私は「改憲案」の危険な内容について、

区長の見解を問いました。

改憲案の危険性認めない区長

区長は「自民党の『改憲案』は、国防軍の位置づけ、緊急事態の宣言、基本的人権や地方自治のあり方などについての考えを、第9条をはじめ関係条文の具体的な改正案の形で示されたもの」「憲法問題については国民的議論が十分尽くされる必要がある」と述べるにとどまり、「改憲案」の危険性、問題点の見解については答弁を避けました。

安倍首相は、参院選で、憲法問題から逃げる態度に終始しました。選挙の結果、自民・公明・おおさか維新などの改憲勢力が3分の2を占めました。国民は改憲を認めたわけではありません。憲法改悪を許さないたたかいはこれからです。



認可保育園の増設で待機児童の解消を



立体都市公園制度で保育所を整備する予定の区立水谷橋公園

3月11日、日本橋にある「キッズスクウェア日本橋室町」という事業所内保育所で、1歳2カ月の男の子が死亡する事故がおきました。私は、亡くなった男の子のご両親から直接お話を伺い、こうした事故が二度と起きないように、保育所問題について質問しました。

保育士の配置基準も緩和された「企業主導型保育」は、保育の質を下げ、子どもの命を危うくしかねません。

私は、中央区で昨年より144人も増えていた待機児童の受け皿は、「企業主導型保育」でなく、保育の質がきちんと確保された「認可保育所」です。すめることを求めました。

区長は「今後も引き続き認可保育所の整備、地域型保育事業などで待機児童解消を図る」と述べました。



豊洲市場の開場延期を

東京都が11月7日に豊洲市場の開場を決めていますが、4カ月後に迫った移転の前に、市場関係者から、開場延期を求める声が大きくなってきています。

6月29日には「築地市場・有志の会」が、森山農水相に開場スケジュールの撤回を求める要請書を提出。その前日28日には、岸本都中央卸売市場長にも要請しています。

この問題で、私は、都に開場延期を求めるべきではないかと、区長に本会議で質問しましたが、区長は「区としては予定日である11月7日に確実に開場できるものと、現時点では考えている」と答弁。「現時点では」というところが微妙な言い方でした。



(左)豊洲市場のイメージ図

「なぜ、今、パリ・ロンドンなのか？」 区民の納得が得られない海外視察



都議会では日本共産党都議団による舛添氏の豪華海外出張問題の追求を発端に「政治とカネ」職が決まり、参院選直後から、都知事選挙が行われています。

舛添氏の問題が注目を集めているさなか、中央区では、6月の区議会定例会に「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた海外視察」として、補正予算が提案され大問題となりました。区長・議長他4名が1118万円の予算で、7日間、パリ市、ロンドンを訪問するという

ものです。私は、6月22日に一般質問で取り上げ、27日にはフジテレビの取材を受け「みんなのニュース」でも報道されました。

「なぜ、今、パリ・ロンドンなのか」・・・区長は「パリ市では、多言語対応や舟運施策、観光客やボランティアの受け入れ環境などを、ロンドン市では、2012年のロンドン五輪後の再開発事業について視察する」としていますが、緊急に補正予算まで組んで行く必要があるのか、納得がいきません。

視察の必要性や経費、タスキミングなど、あらゆる面から見て、到底、区民の理解は得られないこの計画は中止するよう求めましたが、補正予算は賛成多数で可決され、7月3日から9日の海外視察はすでに実施されてしまいました。